

環境報告書 2012

有限会社 日 研

ごあいさつ

私たち日研が大気測定の特化企業として誕生したのは、昭和42年のこと。日本中が高度成長期を謳歌し、と同時に公害や環境汚染が社会問題としてクローズアップされ始めた時代でした。以来、大気汚染や環境保全に関して整備されてきたさまざまな法律に従って多くの企業や行政機関の環境測定や分析をお手伝いしてきました。

21世紀を向えた今日においても、環境汚染の悪化は依然として進行しています。しかし一方ではお客様の意識も「法で定められているから測定をする」のではなく、より健全な環境を守るため積極的に対策を講じていく方向へと変化しています。そうした時流のなかで私たちの事業も、単なる環境測定から、環境を改善させていくためのご提案へと広がってまいりました。

大量生産、大量消費、大量廃棄の時代。私たちは豊かな暮らしを楽しむ一方で、環境を汚してきました。このツケは、私たちにはもちろんのこと、私たちの子供たちへとまわっていくのです。子供たちが健やかに暮らしていける街を、地球を、残していかなければなりません。そのために今私たちに何ができるのか。全社員で環境問題について学びながら、考えています。そしてステークホルダーの皆様といっしょに、さまざまな角度から健全な地域を作り、環境作りを実現していきたいと願っています。



福岡県地球温暖化対策

認 証 番 号
E S T - 0 8 5

福岡県エコ事業所登録
登録番号第584号

代表取締役

末竹 哲

経営理念

私たち日研は、安全で快適な空気環境を創造し地球と人々の「いのち」と「暮らし」に貢献します。

経営方針

私たちは、お客様に満足されるサービスの提供に努め、信頼される企業を目指します。

私たちは、ひとりひとりの能力とチームワークを最大限に活かし、働き甲斐のある企業風土を作ります。

私たちは、環境関連法規を遵守し環境と安全に配慮した事業活動を推進いたします。

環境理念

私たちは、「人と地球にやさしい」を事業活動の念頭に置き、地球環境の保全と環境負荷の低減を図り、住みよい地球を未来の子供たちに残すことを責務と考え行動します。

環境方針

1. 環境に関する法律、規則を遵守するとともに、自主的に目標を設定し実行し環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。
2. 廃棄物の削減と資源のリサイクルを推進します。
3. 省資源、省エネルギーに取り組みます。
4. CO₂、フロンなど地球環境負荷を与える物質の削減に努めます。
5. 有害物質排出量の削減と汚染の防止に努めます。
6. グリーン購入へ積極的に取り組みます。
7. 環境意識の向上を図るために、定期的に環境教育をします。
8. 環境への取組を情報開示し、地域社会とのコミュニケーションに努めます。

平成 18 年 1 月 20 日
有限会社 日研
代表取締役 末竹 哲

1. 会社概要及び環境報告書概要

- 1) . 会社名、代表者氏名及び従業員数
有限会社 日研
代表取締役社長 末竹 哲
従業員数 7名
- 2) . 所在地
福岡市横手1-12-1
- 3) . 事業の内容
環境証明事業、空調ダクトクリーニング等
- 4) . 報告書の対象期間
2011年12月～2012年11月
- 5) . 対象サイト
①作業車
②事務所

2. 環境に関する法律当社の取り組みについて

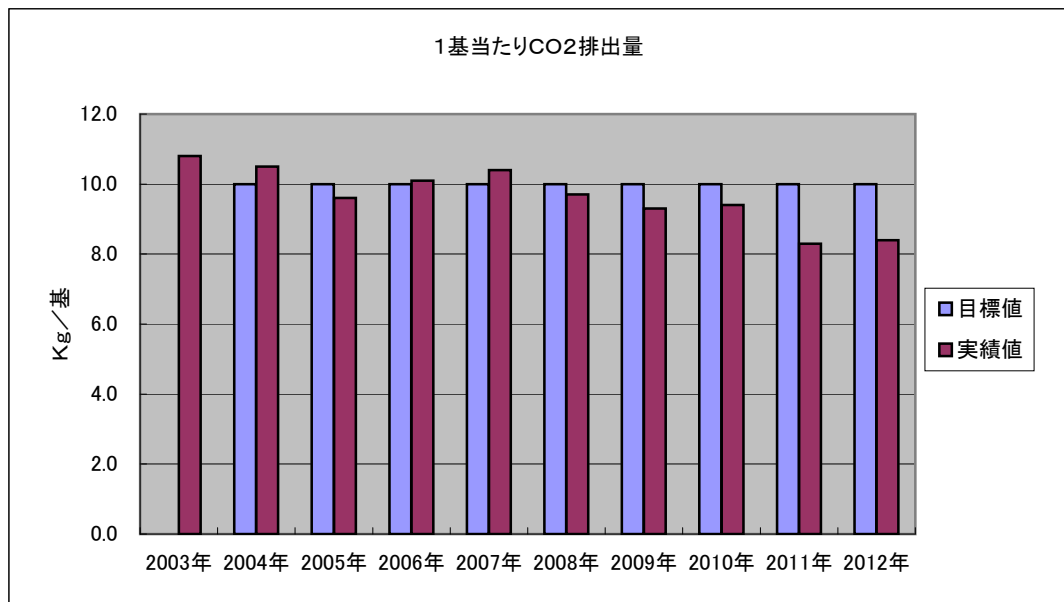
- 1) . 環境基本法
以下の法を遵守する事により同法の遵守になると考えています。
- 2) . 下水道法
当社では、分析業務を行っており、器具等の洗浄水を下水道に流しています。
その為、以下のような事を行い同法の遵守をこころがけています。
①分析後の廃液は、廃液容器に入れ、下水道には、流さない。
②器具等の洗浄水は、排水処理施設を通し下水道へ流す。
③処理後の排水を、年4回検査を行っています。
- 3) . 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
分析後の廃液の処理は、廃液容器に溜め年2回登録業者により処理してもらい
マニフェストで確認を行い、同法の遵守に勤めております。
- 4) . 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律
1997年よりグリーン購入ネットワークに参加しています。
- 5) . 循環型社会形成推進基本法
2003年よりペーパーリサイクルに取り組んでいます。

3. 運用状況と実績

1) . 作業車のCO2排出量の削減（1基当りの排出量）

温暖化ガスであるCO2排出量（1基当りの排出量）の削減を目的としてプログラムを実施しました。以下に結果を示します。

	作業車CO2排出量									
	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
煤煙測定基数（基）	1313	1317	1241	1229	1175	1069	1100	1132	1098	1213
ガソリン消費量（ℓ）	6029	5885	5074	5283	5157	4391	4333	4504	3859	4330
総CO2排出量（kg）	14205	13883	11969	12462	12165	10359	10220	10625	9104	10216
CO2排出量（kg/基）	10.8	10.5	9.6	10.1	10.4	9.7	9.3	9.4	8.3	8.4
目標CO2排出量(kg/基)	—	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0



所見：今年度(2012年度)も目標達成。これで5年連続の達成となった。

来年度（2013年度）も全員で取り組み6年連続の達成を目指していきます。

データに関して

①煤煙測定基数及びガソリン消費量については、日々記入している走行表より抽出。

②CO2排出量は、以下の式にて算出。

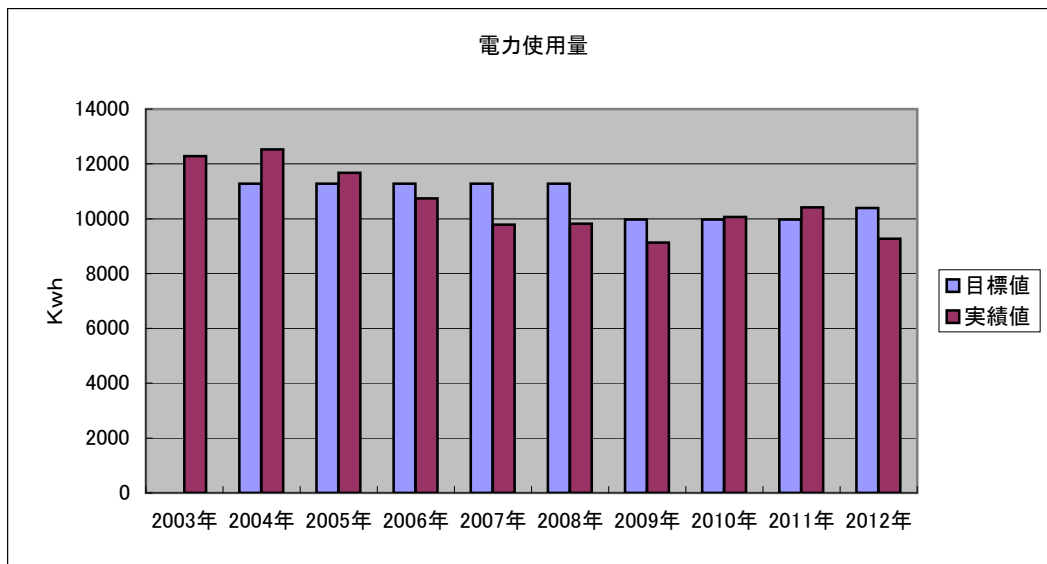
$$\text{CO2排出量 (kg)} = 2.359 \times \text{ガソリン消費量 (ℓ)}$$

※定数2.359は、環境省発行の環境活動評価プログラム—エコアクション21—による。

2) . 事務所の電力使用量の削減（分析室も含む）

電気の省エネルギー化を目的にしプログラムを実施しました。以下に結果を示します。

	電力使用量 (k w h)									
	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
実績	12279	12526	11676	10744	9790	9392	9132	10064	10413	9274
目標値	—	11279	11279	11279	11279	11279	9975	9975	9975	10391



所見：今年度（2012年度）は目標を達成。

新たに目標を10391 k w h と設定しなおした。

ただ今期は前の目標(9975 k w h) でも達成していた。

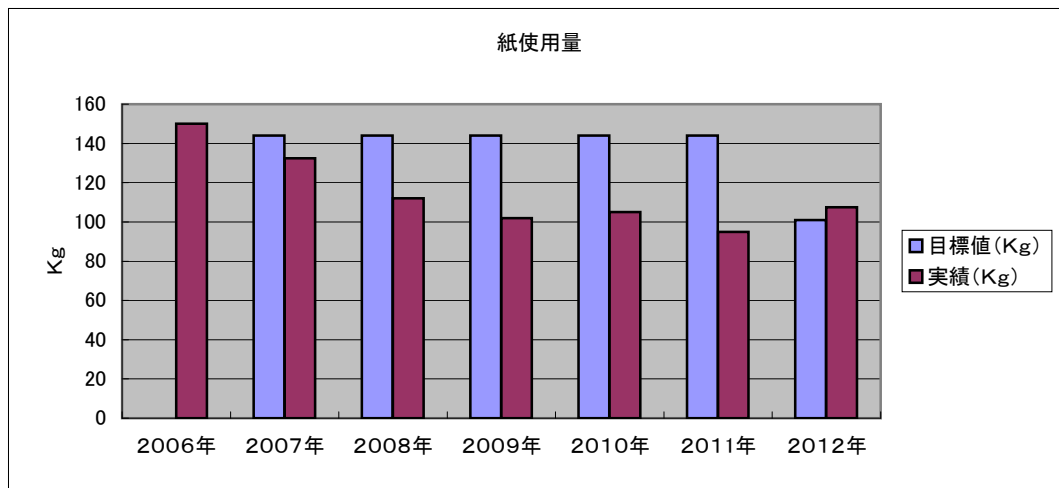
今年度は2年連続未達成のあとだった事と電力量不足を懸念された事により、社員の省エネ意識が高まった為により結果に繋がったものと考えられる。

この調子で来年度も目標達成は勿論のこと、本年度なみの電力使用量を目指していきます。

3) . 事務所の紙使用量の削減

紙使用量の削減を目的としプログラムを実施しました。以下に結果を示します。

	紙使用量						
	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
実績 (K g)	150	132.5	112	102	105	95	107.5
目標値 (K g)		144	144	144	144	144	101

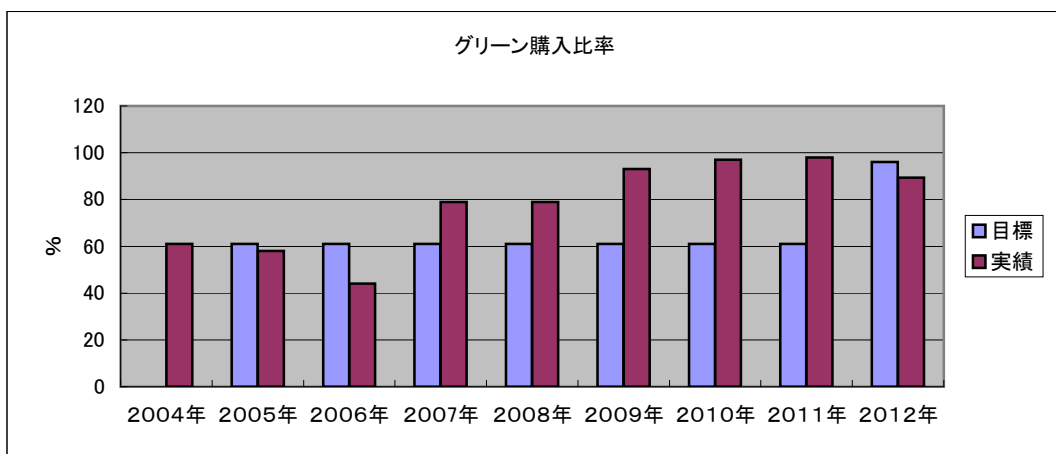


所見：今年度目標未達成。6年連続での達成とはならなかった。
来年度(2013年度)は、再びの達成を目指してがんばっていきます。

4) . グリーン購入の推進

グリーン購入の推進を目的にプログラムを実施しました。以下に結果を示します。

	グリーン購入比率								
	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
事務用品購入額 (円)	87354	87979	150469	164649	149072	135016	169169	61877	143839
グリーン購入額 (円)	53373	51272	66818	130972	118036	125089	164761	60810	128650
実績 (%)	61	58	44	79	79	93	97	98	89.4
目標 (%)	0	61	61	61	61	61	61	61	96



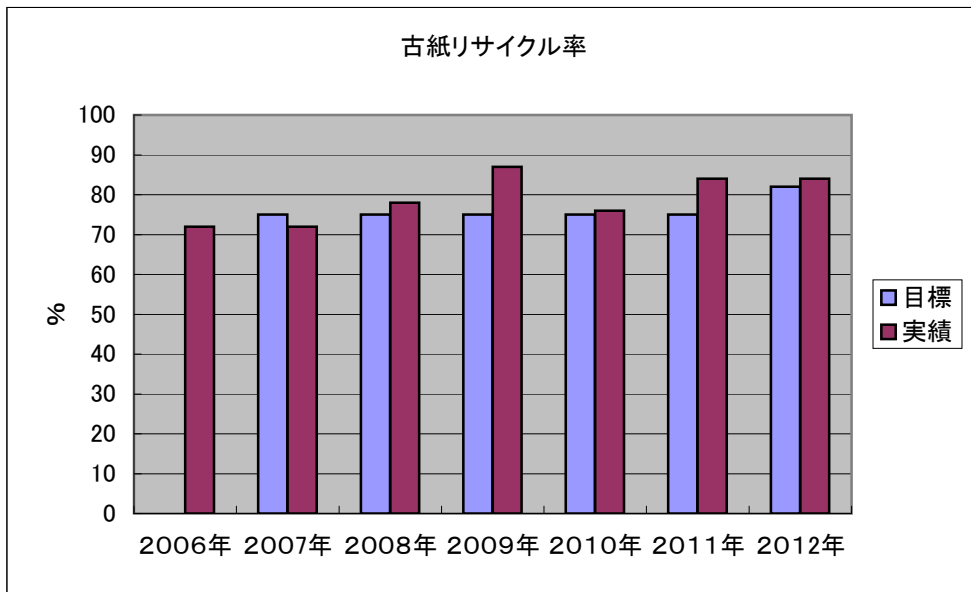
所見：今年度 (2012 年度) は目標未達成となった。

来年度 (2013年度) はグリーン品を積極的に購入し再び
の目標達成を目指していきます。

5) . 古紙リサイクルの推進

資源の有効活用を目的にプログラムを実施しました。以下に結果を示します。

	古紙リサイクル率						
	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
リサイクルに出した古紙 (K g)	600	510	702	507.5	454.5	470.5	492.5
不用物搬出総量 (K g)	835	703.9	897.5	584.5	598.0	559.5	586.0
実績 (%)	72	72	78	87	76	84	84
目標 (%)	—	75	75	75	75	75	82



所見：今年度（2012年度）達成となった。

来年度（2013年度）も古紙リサイクルに積極的に取り組み6年連続の目標達成を目指していきます。

6) . ペットボトルキャップのリサイクル推進

	2009年	2010年	2011年	2012年
リサイクルに出したキャップ数	400	400	800	400

4. 2013年度の環境負荷低減目標

項目	低減目標値
① 二酸化炭素排出量（作業車） 測定1基当り平均	10.0Kg/基以下
② 電力使用量	10391kWh以下
③ 紙使用量	101kg以下
④ グリーン購入の推進	96%以上
⑤ 古紙リサイクルの推進	82%以上
⑥ ペットボトルキャップのリサイクルの推進	—

5. 環境負荷低減目標に向けた具体的な取り組み

- 1) . 二酸化炭素排出量低減（作業車）に関して
 - ①長時間のアイドリングをせず、アクセルむらのない運転をこころがける。
 - ②効率的な測定計画の推進。
 - ③信号待ちを除き、停車したら必ずエンジンをきる。
 - ④急発進、急加速をしない優しい運転をこころがける。
 - ⑥その日の測定に不必要な荷物は、作業車に載せない。
 - ⑦月1度は、タイヤの空気圧のチェックを行い適正な空気圧にする。
 - ⑧走行表の記入。
- 2) . 電力使用量の低減に関して
 - ①夏は光を極力遮断し冷房効率を上げるようにする。
 - ②冬は積極的に昼光を取り入れる。
 - ③電灯は消費電力の少ないものにする。
 - ④退社時は200Vのブレーカーを落とす。
 - ⑤F a xは節電モードにする。
 - ⑥不必要な電灯は消す。
 - ⑦O A機器のスイッチはこまめに切る。
 - ⑧不必要なエアコンのスイッチはきる。
 - ⑨使用方法に合った使用をする。
- 3) . 紙使用量の低減に関して
 - ①社内文書のコピーは裏紙を使用する。
 - ②証明書等の控えをDVD-RAMにて保管する。
 - ③証明書を両面印刷とする。
- 4) . グリーン購入の推進に関して
 - ①エコマーク文房具の購入拡大。
 - ②名刺の再生紙化。
 - ③リサイクル品の購入の拡大。
- 5) . 古紙リサイクルの推進に関して
 - ①紙はなるべくゴミとして出さない。
 - ②両面を使用した紙を古紙回収箱に入れる。
 - ②片面使用品は、保護紙箱に入れる。
- 6) . ペットボトルキャップのリサイクルの推進
 - ①ペットボトルのキャップは捨てないで、会社のキャップいれにいれる。

6. 2013年度環境負荷低減計画

1). 二酸化炭素排出量低減計画推進表

No	推進内容	'12					'13							
		12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	具体的な取組の実施	現在実施中												
2	データ抽出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

毎月走行表より抽出

2). 電力使用量低減計画推進表

No	推進内容	'12					'13							
		12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	具体的な取組③以外の実施	現在実施中												
2	具体的な取組③を考慮した電灯の購入	電灯が切れた所より随時切り替えを行う												
3	データ抽出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

毎月領収書より抽出

3). 紙使用量低減推進計画

No	推進内容	'12					'13							
		12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	具体的取り組みの実施	現在実施中												
2	データ抽出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

毎月残重量を測り抽出

4). グリーン購入の推進計画

No	推進内容	'12					'13							
		12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	具体的取り組みの実施	現在実施中												
2	データ抽出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

購入領収書より抽出

5). 古紙リサイクルの推進

No	推進内容	'12					'13							
		12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	具体的取り組みの実施	現在実施中												
2	データ抽出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

毎月古紙重量とゴミ重量を測り抽出

6). ペットボトルキャップリサイクルの推進

No	推進内容	'12					'13							
		12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	具体的取り組みの実施	現在実施中												

7. 環境報告書 用語説明

[環境負荷]

活動によって環境に加えられる影響であって環境保全上の支障の原因となるおそれのあるもの。直接、環境に悪影響を与える活動はもちろん、その影響を起こす原因となりうる活動も含まれる。

[グリーン購入]

商品やサービスを購入する際に、価格や品質だけでなく、環境に与える負荷のより少ないものを優先的に購入すること。

[グリーン購入ネットワーク]

グリーン購入の取組を促進するために1996年2月に設立された企業・行政・消費者の穏やかなネットワーク。全国の多種多様な企業や団体が同じ購入者の立場で参加している。

グリーン購入の普及啓発、優れた取組事例の表彰・紹介・購入ガイドラインの策定、環境に配慮した商品情報をまとめたデータベース作りなどを行っている。よくGPNと略されています。

[環境基本法]

環境保全に関する施策の基本を定めた法律。1993年11月公害対策基本法に代って制定された。従来の公害対策だけでなく、地球環境保全問題への対処も含む。

[下水道法]

下水道の設置・管理等を定めた法律。1958年4月に制定され、都市の健全な発達、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質を保全することを目的としている。

[廃棄物の処理及び清掃に関する法律]

略称「廃棄物処理法」、別名「廃掃法」と呼ばれている法律で1970年12月に「清掃法」を全面改正して制定された、廃棄物が適正に処理されるための法律。

[国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律]

通称「グリーン購入法」と呼ばれている法律であり、2000年5月制定された。環境負荷が低い製品、リサイクル製品などを国など公的部門が優先的に購入し一定量の需要を確保することで、企業の投資を引き出し、価格を引き下げて環境にやさしい製品やサービスの普及を目指した法律。

[循環型社会形成推進基本法]

循環型社会を実現するための基本理念と政策推進の大枠を定める法律として2000年6月に制定された。

[循環型社会]

従来の大量生産・大量消費・大量廃棄を抜本的に見直し、資源やエネルギーの消費、排出・廃棄物などを地球環境の許容量以下におさえ、循環を基調に継続的に発展させる社会。

[ベンチマーク]

データを比較するときの基準。

[エコアクション21（環境活動評価プログラム）]

中小企業等の幅広い事業者に対して、「自主的に環境への関わりに気づき、目標を持ち行動する」ことが出来る簡易な方法を提供することを目的に、環境省が1996年より普及を進めているプログラム。

有限会社 日 研

福岡市南区横手1-12-1 〒811-1311

Phone 092-572-5826

Fax 092-572-5915

※2013年度環境報告書は2014年2月末発行予定です。

「ご意見・ご感想をお聞かせください。」

時下ますます清栄のこととお喜び申し上げます。

弊社業務につきましては格別のお引き立てにあずかり、厚く御礼申し上げます。

このたび弊社の環境問題への取組をまとめた報告書の第10版である

「日研 環境報告書2012」を作成いたしました。

内容的には、まだまだ不十分な点もあると思います。今後も継続的に報告内容の質を高めていく努力を続けていく所存でおりますので、現段階で本報告書をお読みいただいた皆様のご意見・ご感想をお聞かせいただきたく、アンケートをご用意させていただきました。

ご面倒ですが、裏面の質問事項にご記入のうえ、下記の送り先にFAXしていただければ幸いです。

有限会社 日研

環境マネジャー 小林 広樹

Phone 092-572-5826

Fax 092-572-5915

日研 環境報告書2012 アンケート

これからの弊社の環境問題への取組み進めていくうえでの参考にさせていただくため、皆様の貴重なご意見・ご感想をお聞かせください。

Q 1. 環境報告書をお読みになり、どのようにお感じになりましたか。

1. 分かりやすい
2. 普通
3. 分かりにくい (具体的にどのような点でしょうか?)

()

Q 2. 環境報告書の内容について、どのようにお感じになりましたか。

1. 充実している
2. 普通
3. 物足りない (具体的にどのような点でしょうか?)

()

Q 3. 日研の環境問題への取組みについてどう評価されましたか。

1. 十分評価できる
2. 評価できる
3. 普通
4. あまり評価できない
5. 評価できない

上記1, 2, 4, 5と答えた方にお聞きします。具体的にどのような点でしょうか。

()

Q 4. 環境報告書や日研の取組みについて、お気付きの点やご意見・ご要望をお聞かせください。

()

Q 5. このレポートをどのようなお立場でお読みになられましたか。

1. お客様として
2. 金融関係者として
3. 事業所近隣住民として
4. 企業の環境担当者として
5. 環境専門家として
6. 環境NGO、市民団体として
7. 行政関係者として
8. 教育者、研究者として
9. 学生として
10. その他 ()

ご意見・ご協力賜り、誠にありがとうございました。お差し支えなければ下欄もご記入ください。(個人情報に関しましては、ご本人のご承諾がない限り第三者に開示することは一切ございません。)

お名前	<small>ふりがな</small>	ご職業 (勤務先)	
ご住所 (勤務先・ご自宅)	〒		
ご連絡先	Phon	Fax	
	E-mail		

Fax. 092-572-5915 日研 環境マネジャーまでお送りください。